

英語(筆記)

▶ 解答表

問題番号	設問	解答番号	正解	自己採点	配点
第1問	A	問1	1	③	2
		問2	2	③	2
		問3	3	①	2
	B	問1	4	③	2
		問2	5	①	2
		問3	6	④	2
		問4	7	②	2
	小計		点/14点		
第2問	A	問1	8	③	2
		問2	9	④	2
		問3	10	①	2
		問4	11	④	2
		問5	12	②	2
		問6	13	②	2
		問7	14	①	2
		問8	15	④	2
		問9	16	③	2
		問10	17	②	2
	B	問1	18	⑥	4*
			19	⑤	
		問2	20	②	4*
			21	①	
		問3	22	⑥	4*
			23	④	
	C	問1	24	⑥	4
		問2	25	②	4
		問3	26	④	4
	小計		点/44点		

(注) * は、全部正解の場合のみ点を与える。

問題番号	設問	解答番号	正解	自己採点	配点
第3問	A	問 1	27	③	必 4
		問 2	28	②	4
	B	問 1	29	②	5
		問 2	30	①	5
		問 3	31	④	5
	C	32	①	6	
		33	④	6	
		34	③	必 6	
	小 計			点 / 41 点	
第4問	A	問 1	35	④	必 5
		問 2	36	①	5
		問 3	37	④	5
		問 4	38	③	5
	B	問 1	39	③	5
		問 2	40	②	5
		問 3	41	①	5
	小 計			点 / 35 点	
第5問	問 1	42	③	必 6	
	問 2	43	①	6	
	問 3	44	②	6	
	問 4	45	④	6	
	問 5	46	③	6	
	小 計			点 / 30 点	
第6問	A	問 1	47	②	必 6
		問 2	48	④	6
		問 3	49	②	6
		問 4	50	②	6
		問 5	51	①	必 6
	B	52	③	6*	
		53	④		
		54	①		
		55	②		
小 計			点 / 36 点		

合計

点/200点

第1問 発音・アクセント

▶ 出題のねらい

発音・アクセントに関する基本的な知識を問うため、Aでは母音と子音それぞれに関する発音問題を、Bでは2音節から4音節の単語のアクセントに関する問題を出題した。

▶ 解説

A

問1 1 ③

③ notice のみ [ou] と発音し、他は [a:] または [a] となる。

問2 2 ③

③ steak のみ [ei] と発音し、他は [e] となる。

問3 3 ①

① ambition のみ [b] と発音し、他は無音(黙字)となる。

B

問1 4 ③

これらの単語のうちでは、③ limit のみが第1音節を強く読み、他は第2音節を強く読む。

問2 5 ①

これらの単語のうちでは、① accustom のみが第2音節を最も強く読み、他は第1音節を最も強く読む。

問3 6 ④

これらの単語のうちでは、④ ultimate のみが第1音節を最も強く読み、他は第2音節を最も強く読む。

問4 7 ②

これらの単語のうちでは、② entertainment のみが第3音節を最も強く読み、他は第2音節を最も強く読む。

第2問 文法・語法・整序作文・応答文完成

▶ 出題のねらい

単語や文法事項、英語の表現に関する基本的な知識を問うため、Aでは文意の理解と文法・語彙・語法の空所補充問題を、Bでは文法・語法・慣用句の整序英作文の問題を、Cでは対話文中の英文を文脈と文法・

語法の両面から考えて完成させる問題を出題した。

▶ 解説

A

問1 8 ③

「乾燥する季節には、苔の鉢植えに湿り気を加えるために、水で満たしたスプレーボトルを利用するといいでしょう」

動詞 fill を用いて「A を B で満たす」の意味にするには fill A with B で表し、受動態を用いて「A は B で満たされている」とするには A is filled with B とする。したがって、ここでは前の名詞 bottle を後から修飾して「水で満たされたボトル」という意味になるように、過去分詞の③ filled を入れるのが適当である。

問2 9 ④

「たとえ大幅な値引きをされたとしても、その会社の商品は二度と買うつもりはない」

前後の2つの節をつなぐのに適当な群接続詞を選ぶ問題。「買わない」と「値引きをする」をうまくつなぐには、従属節の後者に譲歩の意味を持たせ、「たとえ値引きをしても」という意味になるように、④ even if を補うのが最適である。他は、now that「今や～なので」、ever since「～して以来」、as far as「～する限りでは」。

問3 10 ①

「雨がやんだらすぐに出発できるように、私たちは今すぐ荷物をまとめなければなりません」

when 以下の内容は未来の事柄を述べているが、このような時を表す副詞節中では未来の事柄も現在形で表す。したがって、ここでは① stops が適当。

問4 11 ④

「この野生生物保護区では、地域一帯を汚染のない状態に保つために、自動車の乗り入れは禁止されている」

〈keep + O + C〉のCに相当するものを補う問題なので、形容詞(句)あるいは分詞(句)があてはまる。そこで、文脈を考慮すると、「～を免れている、(望ましくないもの)がない」を意味する④ free from が最適である。他は、get rid of ～「～を取り除く」、protect「保護する」、(be) lacking in ～「～が不足している」。

問5 12 ②

「昨日はとても暑かったので、私たちの住む地域では、もう少しでこの時期の過去最高の気温を記録しそうになった」

慣用表現に関する問題。選択肢の中では② came close が自然にあてはまる。come close to ~ing で「あやうく～しそうになる」を意味する。他の選択肢の主な意味は、turn out (to be) C「Cだと判明する」、get across ~「～を横切る」、show up「姿を見せる、現れる」。

問6 13 ②

「アンドリューが書き物機を買ったとき、彼は配達してもらうのに追加料金を払う必要があった」

have を用いた使役表現がポイント。選択肢に含まれる it は a writing desk を指すので「それを配達してもらう」という意味になるよう have + O + 過去分詞 (O を～してもらう) の形にすればよい。したがって have に続けて② it delivered を選べば文脈に適合する。

問7 14 ①

「すぐに自分に役立つようには思えなかったので、結局私はそのソフトウェアを購入しなかった」

be に続く補語となるように形容詞句を作る問題。空所の後の名詞句 immediate use に注目し、① of を選ぶのが正しい。(of + 抽象名詞) が形容詞に相当する例である。of use = useful と考えられる。同様に、of no use なら useless に相当する。

問8 15 ④

「私が直面せねばならなかったあらゆる困難にもかかわらず、私はそのプロジェクトチームで働くことに喜びを感じた」

(A)には、all the difficulties という名詞句につながるように前置詞 Despite を入れるべきである。(B)には、it を補うことにより、to work 以下を真目的語とする形式目的語の構文ができる。find it C to do で「～するのはCだとわかる」となる。したがって、④が正解。

問9 16 ③

「雨が降らなければ、その花火大会は予定どおりに開催されていたことでしょう」

主節の述語の形が(助動詞の過去形 + have + 過去分詞)となっていることから、仮定法過去完了を用いた

文にするのが適当。そこで、if 節内の(A)には hadn't を補う。if it had not been for ~ で「もし～がなかったら」を意味する慣用表現となる。(B)には、as とつながって意味をなすように過去分詞 scheduled を選ぶ。as scheduled は「予定どおりに」を意味する決まり文句であり、類例に as planned がある。したがって、正解は③となる。

問10 17 ②

「コンピュータやスマートフォンを持っているかどうかにかかわらず、インターネットのない生活がどんなふうであるかをじっくり考える人はほとんどいない」

(A)には、wonder の目的語にあたる名詞節を導く語として what を補う。what A is like で「A はどのようなものか」を意味するが、ここでは without the Internet (もしインターネットがなければ)に呼応して、仮定法で what life would be like (生活はどのようなものであろうか)となる。(B)には、or not につながるように whether を選ぶ。whether or not ~ で「～だろうとなかろうと」を意味する譲歩節となる。したがって、正解は②。

B

問1 18 ⑥ 19 ⑤

タカ：レストランに行くのにあの地図は役に立ったかい？

メグ：そうでもないわ。あまりにも大まかな地図だったから、その場所を見つけようとして 30 分も無駄にしたのよ。

完成した英文は、(..., so we) wasted half an hour trying to find (the spot.) となる。主語 we に続く述語動詞としては、先行部分を手がかりに過去時制の④ wasted を選ぶ。waste は spend と同じく(V + O (時間) + ~ing) の形をとって「～するのに O を浪費する」の意味を表すことができるので、O に half an hour (⑥ + ①)、さらに続けて trying to find (③ + ⑤ + ②) とすることにより、全体がつながる。以上により、④→⑥→①→③→⑤→②の語順が正しい。

問2 20 ② 21 ①

ロッド：会議で僕たちのために通訳してくれるようにジェフに頼むといいかもしれないね。

パム：賛成だわ。彼はここにいる他の誰よりもスペイン語を上手に話すものね。

完成した英文は、(He's) better at speaking Spanish than anyone (else here.) となる。be good at ~ing (～

するのが上手である)をもとにして考え、He'sの後は⑥ better と② at, ③ speaking, さらに④ Spanish と続けることができる。そして、後半は比較級 better に呼応するように、① than, さらに⑤ anyone (else) とつなげれば、全体が完成する。したがって、⑥→②→③→④→①→⑤の語順が正しい。

問3 22 ⑥ 23 ④

ティム：君の兄[弟]さんは演劇学校に通っていると聞いたよ。俳優志望なのかい？

アン：ええ、そうよ。彼は自分の夢を実現するためにがんばっているの。

完成した英文は、(He's) working hard to turn his dream into (reality.)となる。まず、He'sの後は② workingをつなげて現在進行形の文ができ、さらにそれを副詞の⑥ hardが修飾する。後続部には目的を表す副詞的用法の to 不定詞句を組み立てる。その最初が③ to と⑤ turn である。ここでポイントになるのは turn A into B (AをBに変える)という形と意味である。Aを④ his dream とすれば、① into が続き、文末の reality が B となって、全文が完結することになる。以上により、②→⑥→③→⑤→④→①の語順が正しい。

C

問1 24 ⑥

アヤ：本当にその映画のオーディションを受けるつもりなの？

マット：ああ。競争が激しいのは知っているけど、やってみるまではどうなるかわからないからね。

空所には、映画のオーディションを受けるというマットの発言が入る。「競争が激しいのは知っているけど」に続く部分なので、but 以下には悲観的な言葉はふさわしくない。そこで、「やってみるまでは何が起こるかわからない」という内容にすればよい。最初の(B) you never know の you は総称的で「人は誰でも」にあたる。次は know の目的語にあたる名詞節(A) what will happen が来る。最後に副詞節(B) until you try. が来て、上記の意味が完成する。

問2 25 ②

ウィル：その会社にメールを送るべきかもしれないな。

メグ：電話で連絡を取ったらどう？ メールを使うより電話するほうがずっと早いわよ。

ある会社への連絡方法について、メールを送るとい

うウィルに対し、メグは電話のほうを勧めている。それに続く空所の内容としては「メールを使うより電話するほうがずっと早い」が適切である。そこで、最初に(A) It's a lot quicker を選べば、It を形式主語、次の選択肢の to 不定詞句を真主語にすることができる。この2つ目の語群で(B) to talk about を選ぶのは、最後の選択肢に about の目的語にあたるものがないために不適当。最後の語句には最初の quicker に対応させて、(B) than to use email. を選べばよい。

問3 26 ④

ジョン：今夜の試合観戦を本当に楽しみにしているんだ。

カズ：僕もだよ。どんな結果になるか知るのが待ちきれないよ。

2人とも今夜の試合観戦を楽しみにしていることがわかるので、カズの発言も「どんな結果になるか知るのが待ちきれない」という内容が適当。最初の語句のうち、次の語群とつながって「待ちきれない」という意味を表せるのは(A) I can't wait のみである。ただし、2つ目のうち(A) for the result を選ぶと、最後の語句とのつながりが悪い。そこで、(B) to see を選び、see の目的語として最後の(B) how it'll turn out.をつなげるのが適当である。

第3問 文脈把握(対話文空所補充・文削除・要約)

▶ 出題のねらい

論理展開や談話構成を正確に理解する力を問うため、Aでは話の流れに合うように対話文を完成させる問題を、Bでは1つの段落の中から文脈上取り除くべき1文を選ぶ問題を、Cでは談話体の英語を読み、発言の意図や要点を尋ねる問題を出题した。

A

▶ 解説

問1 27 ③

ジェイク：ほら、見て。この商品を買うべきかどうか、僕はずっと考えているんだよ。わかる？ これは家庭用プラネタリウム、つまり自分の部屋の天井や壁に星の映像を映し出す機器なんだ。

アリス：天文学に興味があるの？

ジェイク：いや、そういうわけじゃないんだ。リラックスするのに役立つものが必要なだけなんだよ。最近よく眠れていないからね。

アリス：ああ、なるほど。静かな音楽でも流しながら、ベッドに横になって映し出された星々を眺めるなんていい考えね。

ジェイク：そうさ。でも問題はね、たぶん僕がめがねをかけたまま眠ってしまうだろうということなんだ。

- ① のどの調子が悪いんだ。
 ② 僕の息子は明かりをまったくつけずに眠りたがなんだ。
 ③ 最近よく眠れていないからね。
 ④ これはうちの庭に置くと格好いいだろうね。

ジェイクは家庭用プラネタリウムが欲しい理由を述べている。この前後のやりとりを見ると、ベッドに横になった際にリラックスできるようにしたいというのが購入目的のようである。したがって、この会話の流れには③が最もよく適合する。

問2 [28] ②

エバ：本当にこの映画を見たいの？

ニック：そうだよ。どうして？

エバ：うちの兄[弟]は、そのタイトルにだまされたと言っていたわ。それほどわくわくするものじゃなかったみたいよ。

ニック：そうなの？ 僕が友人から聞いたこととは違うね。彼はスクリーンから目が離せなかったと言っていたよ。

エバ：本当に？ どちらの意見が正しいのかわからないわね。

ニック：いずれにせよ、すぐにわかるさ。

- ① 僕の友人の1人もまったく同じことを言っていたよ。
 ② 僕が友人から聞いたこととは違うね。
 ③ みんな違った意見を持っているようだね。
 ④ 僕の兄[弟]もあら探しをしようとしたよ。

ニックがこれから見ようとしている映画について、エバはあまり面白くなかったという兄[弟]の感想を伝えているが、ニックはそれとは違う別の意見を紹介している。空所直後のHeが誰であるかを踏まえて、ニックの「友人」の意見を紹介したものとなせば文意が通じる。したがって、②が適している。

B

問1 [29] ②

▶ 解説

この文章は紙のリサイクルに伴う負の側面を取り上げたものである。第2文の①では、その工程に要する消費エネルギーの効率の観点から説明し、後半の

③、④では古紙に使われたインクの除去作業における問題点を論じている。したがって、この流れの中では②「実際のところ、新しい紙の需要を減らすのに別の方法はないように思われる」が、前後に直接つながるとは言えず、削除すべき文である。

▶ 語句

landfill「埋め立て地」

fossil fuel「(石油・石炭などの)化石燃料」

as a matter of fact「実際のところ」

potentially「潜在的に、可能性として」

hazardous「有害な、危険な」

have a long way to go「道のりは長い」

▶ 全文訳

紙のリサイクルは、樹木の保護およびごみ埋め立て用地の節約という恩恵をもたらすが、ある種の悪影響もある。それによって新しい紙を作るのに必要なエネルギーの半分以上を節約することができるものの、そのプロセスは実際にはより多くの化石燃料を燃やすことにつながるのだ。実際のところ、新しい紙の需要を減らすのに別の方法はないように思われる。また、古紙からインクを除去するために、リサイクル施設では有害となる可能性のある様々な化学物質が使われている。ここで問題となるのは、そういった化学物質を含む廃棄物が河川に流されることだ。むしろ、古紙リサイクル業界も、より環境に優しい技術を開発しようと努力しているが、まだまだその道のりは長い。

問2 [30] ①

▶ 解説

冒頭の導入部では、多くの親が家庭内の決まり事を設けることに意義を認めるだろうという一般論を述べている。そして、特に夕食の時間に関する決まり事を一般的な事例として、②以下で詳しく取り上げている。こうした流れの中で見ると、①「忙しい親にとって、彼らの代わりに家事のすべてをこなす人間を雇うのはごく一般的なことである」は、家庭内の決まり事に関する前後の記述とは直接的関連性がなく、削除したほうが自然である。

▶ 語句

hire O to do「Oを雇って～させる」

a sense of duty「義務感」

appreciate「正しく理解する」

ensure (that) ～「確実に～するようにする」

family bond「家族の絆」

▶ 全文訳

家庭内の決まり事は、子どもたちが他の家族構成員を敬い、互いに責任を分担することの大切さを学ぶ助けになるということに多くの親は同意するだろう。忙しい親にとって、彼らの代わりに家事のすべてをこなす人間を雇うのはごく一般的なことである。実際、彼らは夕食時に関する2, 3の簡単な決まり事から始めることが多いが、その時間なら家族全員がそろってテーブルに着くことができるのだ。親は子どもたちに食卓の用意をするよう頼むかもしれない。それが子どもたちに義務感を抱かせ、この1日のうちの特別な時間の価値をよく理解させることになればと願っていることである。食事中は、彼らは誰一人として長椅子に座ったり、テレビを見たり、ゲームをしたりしないように注意するのが普通である。親は家族全員にその日の出来事について話をさせるが、これが家族同士で良好なコミュニケーションを図るための鍵となる。こうして夕食の時間は家族の強い絆の基盤を提供し得るのである。

問3 31 ④

▶ 解説

自家製ペットフードの広まりを話題にした文章である。第1文によると、市販のペットフードの品質に対して飼い主らは不信感を募らせている。第2文以下では、その背景に規制が不十分であるという事実があり、そのため飼い主は根拠が不確かなままメーカーを信頼するより仕方がない、また品質がよければ高価格である、などと述べている。こうしたことを踏まえて、最後の2つの文にあるように、自家製ペットフードに切り替える飼い主が増えているという結論が導かれる。この文脈からすると、④「こうしたわけで、ペットの飼い主の大半は、飼い犬や飼い猫の口に入る物を完全に管理できているという確信を持っている」は相反する内容である。実際は市販品では「管理できていない」わけであり、削除すべきはこの文である。

▶ 語句

be concerned about ~ 「～のことを懸念している」
increasingly 「ますます」
regulate 「規制する」
have no choice but to do 「～するよりほかに仕方がない」
trust in ~ 「～を信頼する」
count on ~ 「～をあてにする、期待する」
quality product 「質の高い製品」
ingredient 「材料、食材」

be confident that ~ 「～ということを確信している」
under these circumstances 「こうした状況下で」
switch to ~ 「～に切り替える」

▶ 全文訳

犬や猫、あるいはそれ以外のどんな種類のペットでも、飼っている人々は自分のペットのために購入する食品の品質に対する懸念を強めている。基本的にこれは、人間が口にする物とは違い、ペットフードが厳しく規制されていないためである。それらの商品を購入する際、飼い主はメーカーを信頼し、ラベルに記載された情報が正確であることを期待するよりほかはない。確かに、人間が食べるのにも十分適する食材で作られた質の高い製品もあるが、通常はとても高価である。こうしたわけで、ペットの飼い主の大半は、飼い犬や飼い猫の口に入る物を完全に管理できているという確信を持っている。このような状況の下で、多くのペットの飼い主が自家製のペットフードへと切り替えている。彼らはそれがペットに安全で健康的な食べ物を手頃な価格で与える唯一の手段だと考えているのだ。

C

▶ 解説

32 ①

「どうもありがとうございます。つまり君は…という印象を得たということですね」

- ① ある意味で、尻振りダンスは人間のコミュニケーションに匹敵するかもしれない
- ② 一部のハチは他のハチよりも食料源に関する情報を集めるのがうまい
- ③ 尻振りダンスをするハチは他の仲間のハチにダンスの仕方を教えることができる
- ④ ミツバチは双方向のコミュニケーションを行う能力がある

この学生は、ミツバチがダンスによってえさのありかをかなり正確に仲間に伝えることができるという点について、「どこか人間の言語コミュニケーションを思い起こさせる」と述べている。したがって、①が適当である。

33 ④

「ありがとうございます。ジェニー。…ようですね」

- ① 生き延びるために、ゾウは高度に抽象的な考えをやりとりする必要がある
- ② 君はゾウの鋭い視覚に特に興味がある

- ③ ゾウはグループ内のコミュニケーションを完全に音に頼っている
 ④ 君はゾウの社会的結束を彼らのコミュニケーション能力と結びつけて考えている

この学生は、ゾウが意思を伝達する際の様々な内容と方法を紹介した後、最後に「このような技能はすべて、彼らが複雑な社会関係を維持するのに役立っているのだと思う」と述べている。したがって、ここでは④が最適である。

34 ③

「ありがとう、ケビン。君が言いたいのは、…ということですね」

- ① そういった研究はすべて他の多くの種に対しても行われるべきだ
 ② 動物とのコミュニケーションのために新方式の手話が必要だ
 ③ 異なる種の間でもコミュニケーションが行われる可能性がある
 ④ 科学者は動物のために多数の通訳者を採用する必要がある

この学生は、チンパンジーやオウムと人間とのコミュニケーションの例を挙げた後、結論として「彼らは少なくとも種の境界を越えて意思伝達ができるようになる動物がいることを示唆している」と述べている。したがって、③が最も適当である。

▶ 語句

take up 「(問題など)を取り上げる」
 as is well known 「よく知られているように」
 hive 「(ミツバチの)巣箱」
 waggle dance 「尻振りダンス」
 in the form of a figure eight 「8の字形に」
 one-way 「一方向の、一方的な」
 elaborate 「入り組んだ、複雑な」
 in the sense that ~ 「~という意味で」
 fairly 「かなり」
 kind of ~ 「ちょっと、いくぶん」
 remind A of B 「AにBを思い出させる」
 verbal 「言語の」
 in a way 「一面では、ある意味では」
 be comparable to ~ 「~に匹敵する」
 interactive 「双方向の」
 empathy 「共感」
 stamp 「踏みつける」
 pick up ~ 「~(情報・信号など)を受け取る」
 abstract 「抽象的な」

associate A with B 「AをBと結びつける」
 bond 「絆、結束」
 sign language 「手話」
 substantial 「かなりの、相当な」
 string O together 「Oをつなぎ合わせる」
 when it comes to ~ 「~ということになると」
 parrot 「オウム」
 varying 「様々な」
 individual 「個体」
 come across ~ 「~を見つめる」
 exceptional 「例外的な」
 boundary 「境界」
 interpreter 「通訳者」

▶ 全文訳

教授：今日のトピックは動物のコミュニケーションです。先週、このテーマに関して少し調べてくるように皆さんにお願いしたので、動物たちがどのようにコミュニケーションするかについて、それぞれクラスで発表する用意はできていると思います。誰か一例を挙げてくれますか。はい、メグ、どうぞ。

学生1：動物のコミュニケーションには様々な種類があることがわかりました。そこで、一例として、私はミツバチの事例を取り上げたいと思います。よく知られているように、ハチは新たな食料源を見つけると、巣に戻り「尻振りダンス」として知られる動作によって、他のハチにその食料源について知らせます。このダンスでは、それらのハチが巣の上で8の字形に動き回り、それによってどうも他の仲間どこで食べ物を見つめられるかを教えているようなのです。人間と違い、ハチは一方向のコミュニケーションしかできないのかもしれませんが、複雑な文法規則も持っていないのかもしれませんが。しかし、尻振りダンスをするハチが目標物の位置についてかなり正確な情報を伝えることができるという意味では、彼らの行動はどこか人間の言語コミュニケーションを私に思い起こさせます。

教授：どうもありがとうございます。つまり君は、ある意味で、尻振りダンスは人間のコミュニケーションに匹敵するかもしれないという印象を得たということですね。

学生1：おっしゃる通りです。

教授：わかりました。次は誰かな？ ジェニー？

学生2：はい。私は高度に社会的な動物であるゾウの行動に興味を持っています。彼らは音や接触、身

振りを使得って様々な方法で意思を伝達します。情報を共有することに加えて、挨拶を交わし、愛情や喜びのような感情を表現し、さらに共感の気持ちを表すことさえできるのです。また、ゾウは足で「聞く」ことができると科学者たちは言っています。ゾウが大地を踏みならすと、他の場所にいるゾウたちはその振動を信号として足で受け取ります。このようにして、彼らは10キロか、それよりも遠く離れているところからお互いに情報を送ることができるのです。このような技能はすべて、彼らが複雑な社会関係を維持するのに役立っているのだと思います。

教授：ありがとう、ジュニー。君はゾウの社会的結束を彼らのコミュニケーション能力と結びつけて考えているようですね。

教授：では、誰か別のタイプの動物のコミュニケーションについて発表できる人はいますか。

学生3：はい、できると思います。

教授：いいですよ、ケビン、続けて。

学生3：ありがとうございます。僕が知ったのは、人間との意思疎通のために言語を使うことができる動物についての研究があるということです。チンパンジーは人間の手話を習得する能力を持つことがわかりました。実際、チンパンジーは相当量の手話の語彙を身につけ、一定の意味を表すためにそれらをつなぎ合わせるができるのです。しかし、発話によるコミュニケーションということになると、ある特定の種類の鳥ほど上手にできる動物は他にいないようです。オウムはそのような種の1つです。いくつかの映像で、僕はオウムが飼い主と話しているのを見ました。もちろん、個体によって様々な技能レベルがあるのかもしれませんが、僕が見た事例は例外的なものかもしれません。しかし、彼らは少なくとも種の境界を越えてコミュニケーションができるようになる動物がいることを示唆しています。

教授：ありがとう、ケビン。君が言いたいのは、異なる種の間でもコミュニケーションが行われる可能性があるということですね。

学生3：その通りです。

る問題を、Bでは通常の文章スタイルとは異なるレイアウトの英文を題材にした情報処理能力を測る問題を出題した。

A

▶ 解説

問1 35 ④

「図表1において、(A)、(B)、(C)、(D)が指しているのは次のうちどれか」

- | | |
|------------|------------|
| ① (A) フランス | (B) 日本 |
| (C) エチオピア | (D) インドネシア |
| ② (A) フランス | (B) インドネシア |
| (C) エチオピア | (D) 日本 |
| ③ (A) 日本 | (B) インドネシア |
| (C) フランス | (D) エチオピア |
| ④ (A) 日本 | (B) フランス |
| (C) インドネシア | (D) エチオピア |

第2段落の図表の説明によると、コーヒーの消費国としてアメリカとブラジルが世界の最上位を占め、ヨーロッパではドイツ、アジアでは日本がトップということになっている。そして、イタリアとフランスがほぼ同量とされているので、グラフ中のイタリアの右隣である(B)がフランスにあたると推定できる。また、インドネシアはアジアでは日本に次ぐ存在で、フランスのすぐ後に位置するとも述べているので、(A)が日本、(C)がインドネシアだとわかる。そして、インドネシアに続くのが、エチオピア、スペインとなっているので、(D)がエチオピアである。以上により、正解は④となる。

問2 36 ①

「文章によれば、次の記述のうち正しいものはどれか」

- ① 一部の国々は主要なコーヒーの消費国であると同時に生産国でもある。
- ② 世界の半数以上の国がコーヒーの輸出から利益を得ている。
- ③ 近いうちにベトナムはブラジルのコーヒー生産高に追いつきそうである。
- ④ 全世界的に、農場を拡張しているコーヒー生産者は増加している。

第3段落の最後に「図表1と2を比べてみると、ブラジル、インドネシア、エチオピアはコーヒーの消費国としても生産国としても非常に重要であることがわかる」とあるように、①が一致している。

第4問 説明文と図表・説明文書などの読み取り

▶ 出題のねらい

情報処理の視点からの読解力を問うため、Aでは図表と併せて英文を読み、必要な情報を特定する力を測

問3 37 ④

「この文章の主な目的は何か」

- ① コーヒー生産に影響を及ぼしている主要因を読者に伝えること。
- ② コーヒー産業の新しい市場はいかにして現れたのかを説明すること。
- ③ コーヒー好きの人の嗜好の変化に関する情報を提供すること。
- ④ 世界的なコーヒー市場の現状と課題について報告すること。

この文章は、2つのグラフという図表を用いながら、消費と生産をめぐるコーヒーの世界市場の現状を紹介するとともに、最後の2つの段落では、特に生産者サイドにおける問題点を取り上げている。したがって、全体としては④が最も適当である。

問4 38 ③

「最終段落に続く可能性が最も高いのは何の話題か」

- ① コーヒー消費において広がる国家間の格差
- ② 有名ブランドのコーヒー製品の人気を回復するのによ方法
- ③ 多くのコーヒー生産者が置かれている苦境
- ④ コーヒー店の経営に従事する人たちに起こっていること

最終段落は「コーヒーの逆説」と呼ばれる現象について説明している。これは消費国におけるブームと生産国における危機という対照的狀況を指す言葉である。本文はその前者についての説明の後、「しかし専門家によれば、それは話の一面にすぎない」という文で終わっている。したがって、これに続けるのに最もふさわしい内容は③である。

▶ 語句

widely-traded「広く取引されている」
commodity「商品」
significantly「著しく、大きく」
boost「後押しする」
emerging「新興の」
the former Soviet bloc「旧ソ連圏」
by far + 最上級「群を抜いて最も～」
counterpart「同等のもの」
right behind ～「～のすぐ後ろに」
play a vital role in ～「～で極めて重要な役割を果たす」
account for ～「～を占める」
earnings「収益」
estimate「推定する」
approximately「およそ、約」

rely on A for B「AにBを頼る」
livelihood「生計(手段)、暮らし」
overwhelming「圧倒的な」
output「生産量」
assume「想定する、思い込む」
thrive「繁栄する、繁盛する」
financial resources「財源、資金」
as a consequence「その結果」
market power「市場支配力」
a handful of ～「一握りの～、少数の～」
raw「生の、原料のまま」
coffee-based「コーヒーを原料とした」
with O in mind「Oを踏まえて」
refer to ～「～に言及する」
paradox「逆説」
coexistence「共存、同時に存在すること」
crisis「危機」
profit「利益、利益を得る」
retailer「小売業者」
roaster「焙煎業者」

▶ 全文訳

コーヒーは世界で最も広範に取引されている商品の1つである。先進国におけるこの産物の需要は近年大きくは変化していないが、新興国市場、特にアジアや旧ソ連圏の市場での着実な消費の増加により、世界のコーヒー市場は現在、活況を呈している。

図表1は2013年の上位10か国それぞれにおける年間コーヒー消費量を比較したものである。ここに示されている通り、アメリカ合衆国とブラジルが群を抜いて同年最大のコーヒー消費国であった。ヨーロッパでは、ドイツがコーヒー消費量ではトップであり、アジアでは日本が最大の消費国であった。図はまた、イタリア人とフランス人が全体としてほぼ同量のコーヒーを消費していたことを示している。インドネシアは日本に次いでアジアで2番目にコーヒーの消費が多かった。インドネシアはフランスの次にランクされ、エチオピア、スペインがそれに続いた。そして、イギリスが最後だった。

コーヒーの生産は多くの国の経済で極めて重要な役割を果たしており、それらの国々の輸出による収益の5割超を占めることも多い。世界中の約1億2500万人がコーヒー産業に生計を頼っていると推定されている。図表2は2013年の主要コーヒー生産国を示している。グラフはブラジルが圧倒的首位であったことを示している。ベトナムは2番手だったが、そのコーヒー生産高はブラジルの半分に満たなかった。図表1

と2を比べてみると、ブラジル、インドネシア、エチオピアはコーヒーの消費国としても生産国としても非常に重要であることがわかる。

世界的にコーヒー需要が堅調なため、コーヒー生産者は繁盛し続けると思われるかもしれないが、現実はその単純なものではない。コーヒー豆を供給しているのは、その大半が資金の限られた小規模農家なので、生産物の種類を増やすことによって生じ得るリスクに備えることは、彼らにとって難しい。その結果、市場支配力は原料のコーヒー豆を買い付けてそれをコーヒー製品にする一握りの国際的な大企業の手握られている。

この状況を踏まえて、世界のコーヒー市場に関する専門家は「コーヒーの逆説」として知られるものにしばしば言及している。それはコーヒー消費国の「コーヒーブーム」とコーヒー生産国の「コーヒー危機」が同時に存在することを意味するのに使われる用語である。消費国において、コーヒーは依然として人気商品である。事実、世界の売上は毎年700億ドルを超えており、そうした国でコーヒーの小売りや焙煎に携わる業者に巨額の利益をもたらしている。しかし専門家によれば、それは話の一面にすぎないという。

B

▶ 解説

問1 39 ③

「30代の親2人と4歳の息子の家族が午後遅くにこの遊園地に到着する見込みである。もし親が息子のために4つの乗り物を選び、どちらか1人がそれぞれの乗り物に息子と一緒に乗り、もう1人は待っている場合、費用を節約するのに最もよい方法はどれか」

- ① 各人に1枚の1日券を購入する。
- ② 大人用と子ども用の1日券を各1枚購入する。
- ③ 乗り物1つにつき2枚の1回券を購入する。
- ④ 11枚綴りの回数券を1冊購入する。

4種類の乗り物を選び、それぞれ子どもと付き添いの親1人が利用するという条件である。同じ料金となる入場料を除外して、料金表に基づいて費用を計算すると、それぞれの乗り物について1回券を購入した場合(つまり、③の方法の場合)、大人3ドル×4で12ドル、子どもが2.5ドル×4で10ドル、合計22ドルであり、これが最も経済的である。他の場合、①では大人40ドル×2と子ども30ドルの合計110ドル、②では40ドルと30ドルの合計70ドル、④は25ドルである。

問2 40 ②

「ある学校が1クラス25人から30人の3クラスで、遊園地のガイドツアーを計画中である。3人の先生が生徒に同行した場合、どのパッケージが最適だろうか」

- ① パッケージA
- ② パッケージB
- ③ パッケージC
- ④ パッケージD

25人から30人の3クラスと同行する先生が3人ということなので、合計すると「78人から93人」の規模であり、15人から50人までを対象とするパッケージAと101人以上を対象とするパッケージDは除外される。残る2つの選択肢のうち、ツアーガイドが含まれるのはBのほうなので、正解は②となる。

問3 41 ①

「園内規定に関する情報について正しいのは次のうちのどれか」

- ① マナーの悪い来園客に関する遊園地の方針が含まれている。
- ② 悪天候の際の払い戻し方法を来園客に提示している。
- ③ 親が小さな子どもを預けられる場所を見つけるのに役立つ。
- ④ カメラや携帯電話の園内持ち込みができないことを来園者に伝えている。

本文最後に列挙されたルールの3番目に「快適な環境を維持するため、当園運営管理者は不適切な服装、過度の飲酒、列への割り込み、その他不穏当な行動が認められた場合、いかなる方にも敷地内からの退去を求める権利を有するものとする」とある。要するに来園者に適切なマナーの遵守を求める項目なので、①があてはまる。

▶ 語句

ride「乗り物、乗車」

coworker「同僚、職場の仲間」

all-day ride pass「乗り物1日券」

11-ticket book「11枚綴りの回数券」

admission「入場料」

a minimum of ~ in advance「遅くとも～前までに」

height measurement「身長測定」

with shoes on「靴を履いたまま」

management「管理者」

reserve the right to do「～する権利を保有する」

eject「退去させる」

improper「不適切な」
excessive「過度の」
cut in line「列に割り込む」
inappropriate「不適切な、穏当でない」

▶ 全文訳

p.117を参照。

第5問 物語文の読解

▶ 出題のねらい

ある事柄に関して、その状況、展開、概要などを理解する力を問うため、物語文を読み、登場する人物の立場から適切に内容を理解できるかどうかを尋ねる問題を出題した。

▶ 解説

問1 42 ③

「この話は…によって語られている」

- ① 教師としての経験がいづらかある女性
- ② 保育園で新規採用された教師
- ③ 保育所に息子を預けて働く母親
- ④ 当面ひとり暮らしをしている女性

最初の2つの段落中に「息子のデイビッドが通う保育園の先生や他の職員の方々のために何かしようと心に決めた」、「育児休暇から仕事に復帰した後、私はその人たちに大変お世話になっている」などの記述があるので、③が当てはまる。

問2 43 ①

「以下の記述のうち、『魔の2歳』の段階にあてはまらないのはどれか」

- ① 母親が子どもから離れているときに始まる。
- ② 通常は2歳頃に起こる。
- ③ 子どもが扱いづらくなる時期のことを指す。
- ④ まったく一般的な現象だとみなされている。

第2段落でこの言葉が用いられた後、「2歳頃のデイビッドは本当に手がつけられなかった。それはすべての子どもが通過する発達段階の1つだということではわかっていたが、自分の息子があれほど扱いにくくならうとは思ってもいなかった」と書かれている。この内容は②、③、④にあたるものなので、不一致なのは①である。

問3 44 ②

「ターナー先生は語り手にどうすべきだと示唆したか」

- ① 毎日少し早めに退社する。
- ② いらいらしながら息子にあれこれするよう言わない。
- ③ 息子に何でも好きなことをさせる。
- ④ 他人からの援助はどのようなものでも受け入れる。

第4段落によると、提案の内容は、親子が今より15分早く起きるというものである。先生の話では、急かすような親の態度がデイビッドの反応に影響した可能性があり、急がせると子どものストレスが増し、悪い行動につながり得るという。したがって、ここでは②が最も適している。

問4 45 ④

「ターナー先生の提案に対する語り手の最初の反応はどのようなものだったか」

- ① それは愚かではなかったかと思った。
- ② それを実行するのは不可能だと思った。
- ③ それを賢明なアドバイスとして受け入れた。
- ④ その有用性に疑問を感じた。

この提案について、語り手は第4段落で「あまりに単純すぎて効果は期待できないように私には思えた」、「当初、私は先生がおっしゃったことをいささか疑っていた」などと述べているので、④が当てはまる。

問5 46 ③

「語り手は箱詰めチョコレートをどうしたか」

- ① その箱にメッセージを書くように夫に頼んだ。
- ② それらの写真を撮った。
- ③ 保育所の職員に渡した。
- ④ 近所の人々に配った。

最終段落で明らかのように、この箱詰めチョコレートの「世界教師デー」にちなみ保育所のスタッフへの贈り物として手配したものである。したがって、③が正しい。

▶ 語句

celebrate「祝う」

appreciation「感謝」

token「しるし」

gratitude「感謝の念、謝意」

take the opportunity to do「その機会を利用して～する」

day-care center「保育所」

be devoted to「～に献身する」

childcare leave「育児休暇」

be indebted to ~「～に恩義がある」
 terrible twos「(第一次反抗期を指して)魔の2歳、手のかかる2歳児」
 out of control「手に負えない」
 stage「段階」
 that hard to deal with「あんなに扱いにくい」
 phase「局面、段階」
 insist on ~ing「～すると言い張る」
 come up with ~「～を思いつく」
 with no clue what to do with ~「～にどう対応すべきか見当もつかず」
 administrator「管理者」
 drop by ~「～に立ち寄る」
 pick up ~「～を(車で)迎えに行く」
 hasty「せわしい」
 rush「急ぐ、急がせる」
 as it turned out「結局は、後でわかったように」
 urge O to do「～するようにOを急き立てる」
 in return for ~「～のお返しに」
 get to do「～するようになる」
 customized「注文に応じた、あつらえの」
 custom「あつらえの」
 make it through ~「～を切り抜ける」
 collect「引き取る」
 extremely「非常に」

▶ 全文訳

毎年10月5日は「世界教師デー」として祝われる特別な日だ。それは、教師が学校で行うすべてのことに對し、生徒と親が感謝の意を表明する日である。その日に、感謝のしるしとしてクッキーやキャンディーといった心ばかりの贈り物を渡して、先生方にお礼をするのは素敵だと思う。今年、私はその機会を利用して、息子のデイビッドが通う保育所の先生や他の職員の方々のために何かしようと心に決めた。

その保育所には、親が働いている間、どの子の面倒も献身的に見てくれる素晴らしい専門家集団がいる。育児休暇から仕事に復帰した後、私はその人たちに大変お世話になっている。実際、私が「魔の2歳」に對処できたのは、先生方の貴重なアドバイスのおかげだった。2歳頃のデイビッドは本当に手がつけられなかった。それはすべての子どもが通過する発達段階の1つだということはわかっていたが、自分の息子があれほど扱いにくくならうとは思ってもいなかった。私はデイビッドがその段階に入ったときのことをはっきりと覚えている。彼は朝ごはんを食べるのを嫌がり始めた。私が職場まで大急ぎで行かなければならないと

きでさえ、自分でやると言い張って、服を着るのを私に手伝わせなかった。夫のトラビスは、その頃重要なプロジェクトに取り組んでいて、たいい出張で不在だった。夫が週末に帰宅した際には、デイビッドについて2人でずいぶん話し合ったが、このような行動に對処する助けとなるような考えは何も思いつかなかった。私はよく自分の母親が近くに住んでいてくれたらいいのと思った。

息子をどう扱えばいいのか見当もつかないまま、私はある日の昼食の後で保育所に電話をかけ、自分の問題について誰かに相談できないだろうかと尋ねた。電話を受けてくれたのはターナー先生だったが、彼女はその保育所のベテラン教師であり、管理者でもある。ターナー先生がいつでも面会可能だとおっしゃったので、私はその日の帰途デイビッドを迎えに行く前に事務所に立ち寄りますと伝えた。

私が到着したとき、ターナー先生は職員室で待っていてくださった。彼女は子どもたちにも親にも人気があるが、それももっともなことだと思う。私の話を聞いた後、先生は思いのほか単純な提案をした。実際、あまりに単純すぎて効果は期待できないように私には思えた。彼女は、デイビッドと私が支度に十分な時間を取れるように、今より15分早く起きるべきだと言ったのだ。先生によれば、私のせわしい態度がデイビッドの反応に影響したのかもしれないとのことだった。彼女の説明では、急がせると子どものストレスが増し、悪い行動につながる可能性があるという。当初、私は先生がおっしゃったことをいささか疑っていたのだが、結局それは魔法のように効果があった。息子と私は15分早起きし、何をするにも少し余分に時間をかけて一緒にやった。私はゆったりと穏やかな調子で息子に話しかけるようにし、単に言われたことをやりなさいと急き立てるのではなく、何が彼にとって最善なのかを話して聞かせるようにした。それによって状況は大きく変わった。デイビッドのために私が行ったことへのお返しに、彼は肯定的な反応を示すようになった。

それ以降、デイビッドのことで問題を抱えるたびに、私は保育所の誰かにアドバイスを求めた。彼女らはいつも何をすべきか教えてくれ、私を大いに助けてくれた。こうして、私はそこにいる全員と知り合いになった。先生方それぞれに贈り物を渡そうと決めると、私はそのことで夫と話し合った。彼はその頃には例のプロジェクトを終えていた。夫が面白いアイデアを思いついたので、私はそれを借用した。彼は特別仕立てにしたチョコレートの箱詰めを作ってはどうかと提案したのであった。そこで私はそれを作ることで

きる会社をネットで見つけた。そして、デイビッドの写真を送り、その写真と「おかげさまで、魔の2歳をうまく切り抜けることができました!」というメッセージをその箱に印刷した特別注文の箱を作るように依頼した。世界教師デーの前日、仕事の後でデイビッドを引き取りに保育所を訪れたとき、私は職員室に入っていた。私は皆さんに挨拶し、それぞれに箱を手渡した。どなたもそれを気に入ってくれたようだったので、私はとても嬉しかった。

第6問 説明的文章の読解

▶ 出題のねらい

説明的な文章の理解力を問うため、長めの説明文を読み、全体的な論の展開や段落ごとの要点を理解できているかどうかを尋ねる問題を出題した。

▶ 解説

A

問1 47 ②

「パラグラフ(2)において、次の記述のうちで正しいものはどれか」

- ① インターネットの到来とともに、小規模企業の経営は難しくなった。
- ② インターネット通信は個人的にも仕事の面でも人々に影響を与える。
- ③ インターネット接続がなければ、親は子どもの安全を保てない。
- ④ ユニークなネット上のプロフィールを作成するのはますます難しくなりつつある。

第3文に「インターネット通信は我々の個人および仕事に関わる生活上のほぼあらゆる側面に影響を与えている」とあるので、②が正解である。①、④にあたる内容は本文にはない。③の「子どもの安全を保つ」は、インターネット通信の効用として触れられているものの、インターネット通信がなければ実現できないとは述べられていない。

問2 48 ④

「パラグラフ(3)において、Such connectivity could be damaging という表現で筆者は何を言おうとしているか」

- ① 親は子どもとの意思疎通に苦労するかもしれない。
- ② ある種の商習慣は世界経済に悪影響を与えるかもしれない。

- ③ オンライン教育を受けることは我々の意思伝達能力を損なうかもしれない。
- ④ インターネットでつながることは人々に害を与えるかもしれない。

“Such connectivity” は、前段落の内容から「インターネット通信により他者とつながること」と考えられる。be damaging は「有害である」という意味である。そのことはパラグラフ(2)でインターネット通信の便利さの例が複数挙げられているのに対し、下線部を含む文ではその流れを however を使って逆転させていることから裏付けられる。したがって、④が正解となる。

問3 49 ②

「パラグラフ(4)において、次の記述のうちで正しいものはどれか」

- ① 文字で書かれたメッセージは必要なら変更可能である。
- ② 文字をタイプするときは、間違えないように大いに注意しなければならない。
- ③ メッセージをタイプする場合、考える時間がより多くある。
- ④ 口頭による意思伝達能力を伸ばすには練習が必要である。

①は第4文の「あることを書き始めてから、自分の考えを別なふうに表現したほうがよいと決めたら、初めから作成し直すことができる」と一致。③は第3文の「メッセージをタイプする場合、自分が書いていることについて考える時間がより多くある」と一致する。④は最後から2つ目の文の「口頭での意思伝達の技能は練習を通じて時間をかけて発達させなければならない」と一致する。②の「間違えないように大いに注意しなければならない」は、発話の際に注意すべきことであり、文字の入力に関することではないので誤りである。

問4 50 ②

「パラグラフ(5)、(6)での筆者の意見を最もよく表す記述はどれか」

- ① 我々にはできるだけ速やかにソーシャルメディアの批判をやめるべきだ。
- ② 我々はネット上でのコミュニケーションのプラス、マイナス両面を認識しなければならない。
- ③ 若者たちはインターネットを使わないと意思疎通ができない。
- ④ 我々はインターネット通信の利用を控えるべきだ。

パラグラフ(5)ではスマートフォンのせいで若者たちが同席する仲間と直接コミュニケーションを取ること

をしなくなったことが述べられている。パラグラフ(6)では(5)の内容をインターネット通信の与える害として一方的に批判するのではなく「インターネット通信には短所もあれば長所もある」と述べている。最終文では「それ(インターネット)を常時利用することで、人々と直に触れ合う能力を損なうことがないようにする必要」を述べ、インターネット通信の短所を考慮しつつ長所を生かすべきという結論へ導いている。したがって②が正解である。

問5 51 ①

「この文章に最も適切な表題はどれか」

- ① インターネット通信の功罪を理解すること
- ② ネット上でのコミュニケーションを避ける最善の方法
- ③ 紙ベースでの通信との比較におけるソーシャルメディア
- ④ インターネット通信とソーシャルメディアの小史

パラグラフ(1)では「インターネット通信が社会と我々の意思伝達の技能に与える影響」がプラスかマイナスかについて、食い違った見方が存在することが述べられている。パラグラフ(2)ではプラス面の例を述べ、パラグラフ(3)ではそれを however でひっくり返し、以降パラグラフ(5)まで我々の直接の対人コミュニケーションに与えているマイナスの影響が述べられている。最終パラグラフでは再び「インターネット通信には短所もあれば長所もある」というパラグラフ(1)の内容に戻り、インターネット通信の短所に留意しつつ長所を生かすべきであるという結びとなっている。したがって、①が適切である。

B

- 52 ③
- 53 ④
- 54 ①
- 55 ②

各パラグラフの要旨は以下の通り。

- (1) インターネット通信は我々の生活に大きな役割を果たす一方で、負の影響も懸念され、議論の的になっている。
- (2) インターネット通信のおかげで世界とのつながりが容易に可能になり、子どもの安全管理や海外との業務の遂行や地方の学生の教育などに利便性が拡大している。
- (3) 我々は2つの選択肢があると安易な道を選ぶ傾向があり、手書きで手紙を書かなくなる。インターネット通信への依存が我々の書く技術を低下させるという懸念を持つ者もいる。

- (4) インターネット通信への依存は口頭での意思疎通の技能の向上にも影響しかねない。発した言葉は消せないで、口頭での意思疎通能力は時間をかけ訓練する必要がある。
- (5) スマートフォンの普及により、同席している相手との会話を楽しまずにスマートフォンの操作に熱中する若者が増えてきている。
- (6) 対人コミュニケーションへの悪影響に注意しながらインターネット通信の長所を生かしてゆくべきである。

以上をさらに簡明化して表せば以下ようになる。

- (1) インターネット通信の話題の導入
- (2) インターネット通信のもたらす利益=③
- (3) 安易な道を選ぶ我々の傾向とその負の影響=④
- (4) 口頭での意思伝達能力を低下させる危険性=①
- (5) インターネット通信の若者への悪影響=②
- (6) 両刃の剣としてのインターネット通信

▶ 語句

- refer to ~ 「～を指して言う」
- effect of A on B 「A が B に与える影響」
- subject 「論題」
- debate 「議論」
- improve 「向上させる」
- weaken 「衰えさせる」
- play a role in ~ 「～で役割を果たす」
- considerable 「かなりの」
- cyber friend 「コンピュータを介した友人、メル友」
- readily 「容易に」
- connect 「つなげる、接続する」
- use 「用途」
- keep track of ~ 「～の足取りを追う」
- make sure ~ 「～を確認する」
- efficiently 「効率的に」
- located 「位置している」
- rural 「地方の」
- otherwise 「他の手段で」
- affect 「影響を与える」
- aspect 「側面」
- professional 「職業の」
- rare 「稀な」
- connectivity 「接続(性)」
- damaging 「害を与える」
- be likely to do 「～する可能性が高い」
- due to ~ 「～のせいで」
- go extinct 「絶滅する」
- tap 「(軽く)たたく」
- sophisticated 「洗練された」

compose「作成する」
 verbally「口頭で」
 would rather do「(むしろ)～したほうがいい」
 phrase「表現する」
 start over「(最初から)やり直す」
 from scratch「初めから」
 undo button「取り消しボタン」
 put ~ to use「～を用いる」
 company「交際、付き合い」
 distract「気をそらす」
 device「機器」
 uncommon「稀な」
 interact「交流する」
 as with ~「～と同様に」
 as well as ~「～だけでなく」
 harm「害を与える、損なう」
 in person「本人が直に」

▶ 全文訳

- (1) インターネット通信とは、人々がワールド・ワールド・ウェブで意思伝達を行う形態のことである。インターネット通信が社会と我々の意思伝達の技能に与える影響は近年大いに議論的になっている。問題になっているのは、この行動が我々の意思伝達技能を高めているのか、それとも低下させているのかということである。インターネット通信は我々の生活において大きな役割を果たしている一方で、スマートフォンを手にしてネット上の友人と連絡を取ることが、実際に口頭でコミュニケーションを行う技能を低下させると言う人たちもいるのだ。
- (2) インターネットを通じてごく容易に世界とつながることには多くの利点があるということを否定できる者はいない。我が子の安全を確認するため親がその足取りを追うことができるということに始まり、企業が世界中にある提携企業とより効率的に仕事ができるということ、さらには、地方の学生がインターネット通信以外の手段では享受することはないであろう教育サービスを利用できるということに至るまで、新たな用途は絶えず考案されている。インターネット通信は我々の個人および仕事に関わる生活上のほぼあらゆる側面に影響を与えている。何らかの形でネット上にプロフィールを出していない人に出会うのはどんどん稀になっている。
- (3) しかしながら、そのように接続可能であることは害にもなり得る。2つの選択肢があると、大多数の人々はより楽なほうを選ぶ可能性が高い。であるからこそ、ますます多くの人がアナログ通信よりもイ

ンターネットによるデジタル通信を選んでいるのである。ネット上でコミュニケーションを取ることは容易なので、人々が紙ベースでのコミュニケーションを行う頻度は以前ほどではないであろう。その結果、手書きの手紙は徐々に消え去ろうとしている。画面上の2、3のボタンを軽くたたいて数分でデジタル式のメッセージを送れるのに、紙のカードを購入し投函することに時間をかけたいと思う人がいるだろうか。我々がインターネット通信に依存すればするほど、洗練された文章能力を失うことになるだろうと心配する人々もいる。

- (4) インターネット通信に過度に依存することは我々の口頭での意思伝達にも影響するかもしれない。オンラインでメッセージを作成することは、口頭で意思伝達をする場合とは異なる技能を要する行動である。メッセージをタイプする場合、自分が書いていることについて考える時間がより多くある。あることを書き始めてから、自分の考えを別なふうに表現したほうがよいと決めたら、初めから作成し直すことができる。しかし、話す場合はそうはできない。一度何かを声に出して言ってしまうと、口にしたことを消去する取り消しボタンは存在しないのだ。また、実際に発話する前に自分が言わんとすることについて考慮する時間も少ない。口頭での意思伝達の技能は練習を通じて時間をかけて発達させなければならない。しかし、そうした技能を用いる必要がめったになければ、その技能を高めることはほとんどないだろう。
- (5) 若者たちの意思伝達はこの10年間で大きく変わってしまった。スマートフォンが市場に出回っていなかった頃は、友人同士2人がレストランの席に座っていれば、おしゃべりをしながら、その場の付き合いを楽しんでいたものだ。今日のように、ポケットに忍ばせた携帯機器に気を散らされることはなかった。しかし今では、向かい合って座った2人の若者が、それぞれスマートフォンを手にし、メールをチェックしたり、メッセージに返信したり、注文した食べ物の画像を投稿したりする—その間ずっとテーブルの向かいの相手を無視しながら一姿を目にするのは珍しくない。
- (6) ネット上で交流することを快適に思う人は増加の一途である。たいていの物事と同じく、インターネット通信には短所もあれば長所もある。インターネットのおかげで、我々は以前より容易に他の人々とつながることができる。一方で、それを常時利用することで、その同じ人々と直に触れ合う能力を損なうことがないようにする必要も確かにあるのだ。